

公開実用平成 1- 98982

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平1-98982

⑬ Int.Cl.⁴

F 16 K 31/385
F 24 H 9/16

識別記号

庁内整理番号

7718-3H
Z-6783-3L

⑭ 公開 平成1年(1989)7月3日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 ガス湯沸器用水栓

⑯ 実 願 昭62-196561

⑰ 出 願 昭62(1987)12月24日

⑱ 考 案 者 渡 辺 清 次 千葉県柏市新十余二3番地1 日立熱器具株式会社内
⑲ 出 願 人 日立熱器具株式会社 千葉県柏市新十余二3番地1

明 細 書

1. 考案の名称 ガス湯沸器用水栓

2. 実用新案登録請求の範囲

水出口通路(2)と水入口通路(3)とを形成してなる本体(1)にスピンドルガイド(6a)を介してデスク(4)を取付けてなるダイヤフラム(5)を取付け、該ダイヤフラム(5)を介して前記の水出口通路(2)と水入口通路(3)間を連通する水栓室(A)を形成してなるガス湯沸器用水栓において、前記のダイヤフラム(5)と当接する水出口通路(2)近傍の本体(1)に樹脂部材よりなる弁座(9)を取付けたことを特徴とするガス湯沸器用水栓。

3. 考案の詳細な説明

産業上の利用分野

本考案はガス湯沸器用水栓の改良に関するものである。

従来技術

従来、この種ガス湯沸器用水栓は第2図に示す如く、1は黄銅などよりなる本体で、水出口通路2と水入口通路3とが形成されている。6aはスピ

ンドルガイドで、該スピンドルガイド6aを介し、
中央部に樹脂部材よりなるディスク4を取付けてなる
ダイヤフラム5を本体1に取付けてあり、該ダイ
ヤフラム5を介して水出口通路2、水入口通路3
及び水栓室Aに貫通されている、4a及び4bは夫々
ダイヤフラム5に穿孔された孔であり、水栓室A
と水出口通路2間及び水栓室Aと水入口通路3間
を夫々連通する部位である。6はスピンドルで、
一端側に前記の孔4aを開閉する如くディスク4に当
接するパッキン7を取付けるとともに他端側はス
ピンドルガイド6aの外側に突出させている。8は
スプリングでスピンドル6の一端(パッキン7)側
と、スピンドル6の他端側たるスピンドルガイド
6aの内部間に取付けてあり、常時、パッキン7を
前記の孔4aを開成する如く付勢するものである。

かかる構成においてガス湯沸器の使用に当たっ
てスピンドル6の他端側を操作すると、スピンド
ル6がスプリング8の弾発力に抗して孔4aを開口
する如く上方に引上げられる。

従って、孔4bを介して水入口通路3から水栓室

A内に充満していた水(詳細な説明は省略する)は水出口通路2に流れて水栓室A内の圧力が低下し、デスク4、ダイヤフラム5は上方へ変位してダイヤフラム5によって遮断されていた水出口通路2が水入口通路3に直接連通する。

また、ガス湯沸器の使用停止にあたって、上述とは逆にピンドル6の他端側を操作してピンドル6の引上力を解除すると、スプリング8の弾発力によってピンドル6が押下げられ、パッキン7によって穴4aを閉成し、水栓室A側と水出口通路2側のダイヤフラム5の受圧面積の差によって生ずる力により、ダイヤフラム5を介して水出口通路2と水入口通路3間の連通を遮断する。

考案が解決しようとする問題点

しかるにかかる構成のものにあっては、ダイヤフラム5と水出口通路2との当接部位は、例えば、砲金以外の金属材料を本体1に使用した場合に水道水によって脱亜鉛現象が起り易くなることがあり、長年月使用しているとガス湯沸器の未使用中にも関わらず、常時、水洩れ現象が生じる欠点がある。

ある。

問題点を解決するための手段

本考案は上記の欠点を除くためになされたものであり、水入口通路と水出口通路とを形成せる本体に、水出口通路と、水入口通路とを遮断する如きダイヤフラムを取付け、該ダイヤフラムと当接する水出口通路近傍のの本体に、樹脂部材よりなる弁座を取付けたものである。

作用

このようにしたことにより、長年月に亘ってガス湯沸器を使用しても、ダイヤフラムと当接する水出口通路近傍の本体部分は、樹脂部材のために該本体部分の脱亜鉛現象は解消される。

実施例

以下、本考案の一実施例を図面に従って説明する。

実施例の構成を示す第1図において、第2図と同一の番号を付した部分は第2図との共通部分なので、その部分の説明は省略する。

図において9は樹脂部材よりなる弁座で、水出

口通路 2 近傍の本体 1 と、ダイヤフラム 5 との当接部位に、例えば圧入などによって固定する如く取付けられている。10 は O リングで、該弁座 9 と本体 1 間に取付けてあり、弁座 9 と本体 1 間のシールに供するものである。

従ってかかる構成にしたがため、ダイヤフラム 5 と当接する水出口通路 2 近傍の本体 1 の脱亜鉛現象が解消され、水出口通路 2 近傍の本体 1 は水道水によっては浸食されない。

考案の効果

以上、本考案によると、水出口通路と、水入口通路とを形成せる本体に、水出口通路と、水入口通路とを遮断する如きダイヤフラムを取付け、該ダイヤフラムと当接する水出口通路近傍の本体に、樹脂部材よりなる弁座を取付けたことにより、長年月に亘ってガス湯沸器を使用しても、ダイヤフラムと当接する水出口通路近傍の本体部分の脱亜鉛現象は解消されて水出口通路近傍の本体は水道水によっては浸食されないので、ガス湯沸器の未使用中には水洩れ現象が生じることのないガス湯

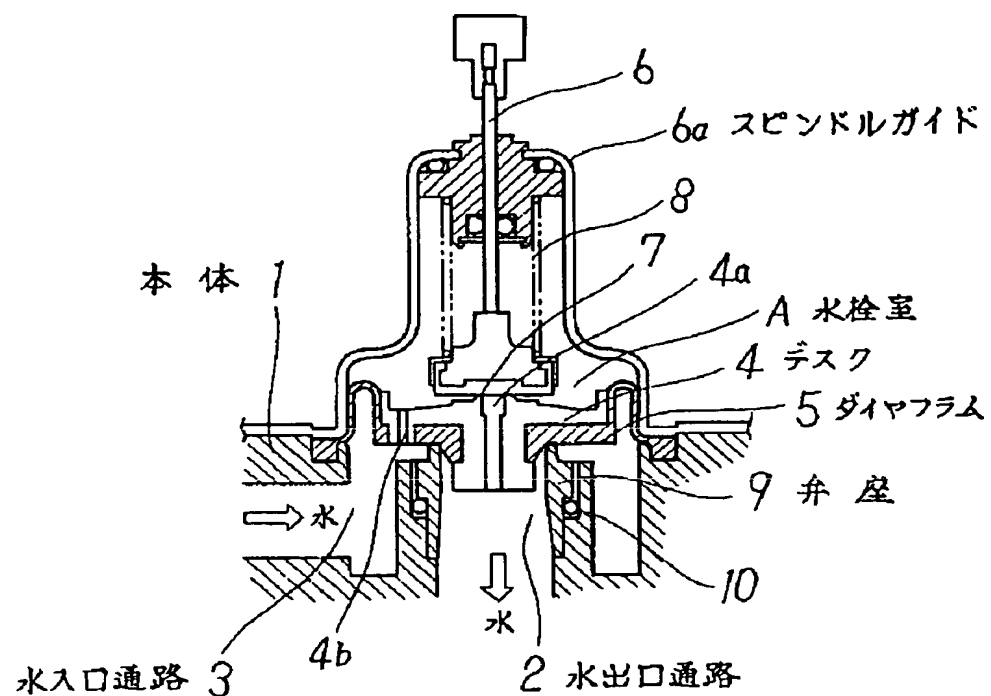
沸器用水栓を提供出来る。

4. 図面の簡単な説明

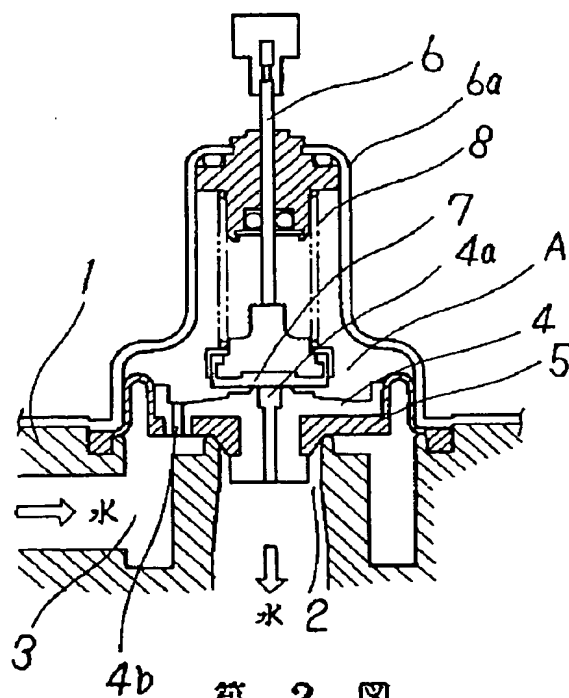
第 1 図は本考案の一実施例によるガス湯沸器用水栓の断面図、第 2 図は同従来の断面図である。

- 1 … 本体、
- 2 … 水出口通路、
- 3 … 水入口通路、
- 4 … デスク、
- 5 … ダイヤフラム、
- 6a … スピンドルガイド、
- 9 … 弁座、
- A … 水栓室。

出願人 日立熱器具株式会社



第 1 図



第 2 図

出願人 日立熱器具株式会社

1112

実開 1-98982 1

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.